

香取遺産

Vol.114

本矢作城跡
国分氏の居城跡

栄枯盛衰始まりの地

国分氏学習課 ☎(50)1224



▲標柱が立つ本矢作城跡

本矢作城跡は、本矢作に所在する国分氏の最初の居城跡です。国分氏は、千葉介平常胤の五男胤通に始まります。胤通は治承4年(1180)、源頼朝の旗挙げの際に、父常胤とともに出陣して、軍功を挙げたという話もあります。軍功については、詳しく触れませんが、胤通が活躍した時代がわかります。本矢作城は、その胤通が築いたと伝えられており、年代は、鎌倉時代の初めころと考えられます。

た建物、つまり、城の中心であった場所と考えて良いでしょう。本矢作城は、鎌倉時代を通じて国分氏の居城でしたが、鎌倉時代の終りころ、胤通から数えて四代目になる胤長の二男泰胤が、現在の大崎の地に城を築き、本拠地を移したと伝えられています。今は「大崎城跡」として古くは「矢作古城跡」として知られている城跡がそれです。大崎城に本拠地を移した国分氏は、その後、領地を拡大し、戦国期には香取郡内で最も勢力を有する在地豪族に成長しました。勢力拡大の陰には、他の在地豪族や香取神宮との領地争いもあったでしょう。

城跡は、単郭構造と考えられており、現在は、堀跡や土塁をわずかに確認することができのみで、正確な規模などは不明です。また、一族が崇敬したとされる妙見祠の跡も残されています。跡地は字名を「タテ」といい、元々は「館」の字を使用していたようです。よく時代劇などで領主などを「お館様」と呼ぶ場面があるように、城主が通常居

国分氏は、天正18年(1590)の徳川家康による関東制覇の時に、他の千葉一族と同じく滅びました。国分氏の栄枯盛衰の始まりの地である本矢作城跡は、昭和45年5月27日、市の史跡に指定されました。

文芸

作品募集 はがき1枚に俳句2句・短歌2句(または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分(12月10日締切)を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

東條 快秀選

焼芋の本州形に出でにけり

嶋田 武夫(下飯田)

評 冬の味覚でこれに勝るものは無い。焼きたての芋を取り出し二つに折って、息を吹きかけながら食べる。その折に偶然目についた光景である。日常生活で気にしないことが新鮮に見えることが有る、この瞬間が楽しい。

小春日の結婚記念日独り居り

石毛 京子(山倉)

留守宅の灯り久しや柿たわわ

黒田 昭二(佐原イ)

草紅葉昨日の色と今日の色

鈴木 幸(佐原イ)

病むも又生きてる証冬銀河

増田 都美子(一ノ分目)

図書館に知恵の静けさ冬灯

村田 琴(香取)

香取歌壇

稲村 恒次選

・旧仮名遣い

しみじみとわが手の甲に目をやれば働きぬきし指の節くれ

加瀬 武子(高萩)

評 手の甲に目をやって、その節くれだった我が指に、懸命に働いてきた半生を貴重なものとしてしみじみ見つめているのだ。「働きぬきし」の感慨が「指の節くれ」によって具体化され、感銘深く共感される。

冬ざれの庭に千両万両の実も撓なり明日への明かり

嶋田 武夫(下飯田)

でで虫が雨の舗道を這ひてをり轆かぬやうにと自転車を漕ぐ

関 いさお(三島)

西浦の岸より望む筑波嶺の双耳鮮らけし立冬の空

鈴木 一満(八筋川)

老人車たよりの朝の散歩道みそ汁にほふ裏通りゆく

菅谷 ふさ(久保)

捨てがたき母の手縫いの襦袢なりわが半世紀を見守りくれし

石上 ひろ子(佐原イ)

編集後記

今回はドローンインパクトチャレンジの取材に行きました。すでに市販されているドローンですが、安全に飛行させるにはそれなりの技術が必要。大会は、その安全な利用と操縦者の技術向上が開催の目的とのことでした。さまざまな活用方法が検討されている最新技術。安全で便利な社会を作ってくれるといいですね。

ところで、登場したドローンには、何と本体のパーツを3Dプリンターで出力して組み立てたという機体もありました。ドローンをプリントする：かつて漫画や映画で描かれた未来は、案外近くまでできているのかもしれないと思いました。(N)

今月の納期限

12月28日(月)

国民健康保険税 (6期)
介護保険料 (6期)
後期高齢者医療保険料 (6期)

今月の休日納税相談日

12月20日(日)

さわら雛舟出演者募集

国水郷佐原観光協会 ☎(52)6675

- 期日 3月12日(土)
- 定員 お内裏様とおひな様…各1人、五人囃子…男性5人(40歳まで)、官女…女性8人、稚児…女性19人(6歳~小学3年生)
※応募者多数の場合は抽選
- 内容 ひな衣装を着て、各役に扮して舟に乗り、小野川を往復します。
- 費用 交通費は自己負担

小江戸さわら春祭り出店者募集

水郷地域・北総地域の特産物販売など、「食」の魅力を広くPRできる出店者を募集。

■日時 3月12日(土) 10時~16時

■場所 小野川沿い

雛舟出演者・小江戸さわら春祭り出店者申し込み方法

2月12日(金)(必着)までに申込書を郵送、ファクスまたは持参で 〒287-0003 佐原イ74-31 水郷佐原観光協会
※雛舟出演希望者は「雛舟参加者募集係」と明記

※申込書は水郷佐原観光協会です入手するか同協会ホームページからダウンロード

☎(52)6675

http://www.suigo-sawara.ne.jp/



かとり

平成27年(2015)12月15日号 No.234

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp